

1、長門裕之さんご逝去

長門さんが亡くなった。私が長門さんと出会ったのは昭和26年。彼が高三で私は高一。彼は当時から輝く存在で、高校の講堂で演劇や音楽の練習をしている時は勿論のこと、運動場でも友達に囲まれて光った存在であった。呼び名は「アキオちゃん」本名が加藤晃夫、当時の芸名が「沢村アキオ」だからである。そのアキオちゃんが私に「演劇部に入らないか。音楽をやってみないか」と勧誘するのだから、一も二もなく加入した。

演劇の方は千田是也著の「現代俳優術」がテキストだが、難しいことは抜きで早口言葉とゼスチュアの練習が主体。秋になると菊田一夫の作品などを上演して近所の人に公開した。高校生の素人芝居だが、娯楽に飢えていた当時、衣装や舞台装置などは東映撮影所の本物を借りたので、近所の人で大入り満席である。主役は勿論、加藤アキオ。

音楽はハワイアン。アキオちゃんの親友の長橋善郎という人がバンドマスターでスチールギター。アキオちゃんともう一人がギター。猪股稔君がウクレレとヴォーカルであった。誘われた私だが、歌は知らず楽器も弾けないから、荷物運びが主務である。それでも練習の間に楽器を触らせてもらえた。とりわけ、コントラバスは長橋さんのお兄さんが担当していたが、足が不自由な方だったので私が代役することが求められていた。

ハワイアンのバスは五線譜ではなくコード演奏である。C、F、G7などというコードを見てピチカートで弾くのである。後に大学の管弦楽団で「何が弾ける」と聞かれ「コントラバスを少々」と答えて入団したが、こちらは本格的なクラシック弓奏であり、いきなりモーツァルトとハイドンの交響曲を渡されたのには驚き、かつ苦勞した。

アキオちゃんは、その後、立命館大学へ進学し石原裕次郎と「太陽の季節」に出演して人気俳優の道を進まれたのでお会いする機会はなくなったが、後輩の我々の演劇公演に差入れを頂いたし、激励のはがきを貰ったことがある。77歳ですか。ウーム。

2、金魚すくい選手権

“金魚すくい”は夏の風物詩。全国の夏祭り、商店街の催しなどで見られるものだが、選手権大会となると如何であろうか？ 全国でも指折りの金魚の産地『大和郡山』での募集要項を抜粋してお目に掛ける。 参加料：無料

期日：8月21日8時30分開始 場所：大和郡山市金魚スクエア(体育館)

資格：小学生以上(奈良在住者は予選あり)

申込み：問い合わせ URL <http://www.city.yamatokoriyama.nara.jp/kingyo/>

E-mail kingyo_s@m4.kcn.ne.jp

639-1196 大和郡山市北郡山町248-4 大和郡山市地区振興課

金魚すくい選手権大会事務局 TEL 0743-53-1151 内線563 FAX 0743-55-4911

注意事項：3分間に1人1枚のすくい網で金魚を何匹すくえるかを競う。

禁止事項あり、反則3回で競技停止となる。(詳しくは上記へ)

申込者多数の場合、抽選がある 締切り：7月15日(金)必着

※ 「金魚博士の認証試験」も行われるとのこと。

3、イカルは富士山麓にも

「イカルはわが家の庭先にも飛んで来ます」と富士宮の親友・佐野徹君からの便り。
(佐野君の手紙の写真には、嘴が太いイカルがしっかりと写されています。)イカルは、
いろんな所に住んでいるだろうと想像してたけど、富士山麓とは嬉しいですね。

愛鳥週間を過ぎ、斑鳩のイカルはスーパーの駐車場の向こうの農地に沢山いる。修学旅
行のバスからも見えるハズ。ケリの夫婦は相変わらずで、車で近づいても知らん顔だが、
歩いて近寄ると激しく鳴く。「ヤイヤイ!ここを何処だと思っていやがるんだ!」
裏の小川を縫っての宙返りはツバメ。屋根で巣作り子作りはスズメ。空にはヒバリの高音。

4、鑑真和上の精進料理「和上御膳」

鑑真和上のお寺として有名な奈良・唐招提寺で、和上の故郷・中国揚州(奈良市と都市
提携)の大明寺の精進料理が、奈良パークホテルで提供されることになったと言う。
スープや揚げ物13種で、1人前が4,000円。予約必要。0742-44-5255
西の京の唐招提寺や薬師寺に参詣し、精進料理を頂くという企画は如何かな。

以前、清水日中では南京経由で揚州大明寺へ行き、鑑真和上像にお参りしたことがあり
ました。平山郁夫先生のご尽力で、立派なホテルで何か頂いた筈ですが、味覚音痴の小生
のことゆえ、味の記憶は御座いません……「和上御膳」きっと美味しいと思います。

5、奈良新聞の読者文芸から

(作者名を省かせてもらいました)

笛の音や惑いて行けば花吹雪

筍の産地や昔古戦場

筍を持って余している老二人

竹の子に鎌を入れれば青葉の香

越境のタケノコ成敗夕膳に

バス停を囲んで咲きし茉莉花

青丹よし奈良の小雨の中学生

天平の豊が棲み家このスズメ

6、心が癒されるお寺

京都・奈良にお寺が多く、清水では見かけない宗旨もある。法隆寺は聖徳宗だし融通宗
というのを見た。が、宗旨はともかく、寺の雰囲気による分類もありそうに思える。

賑わっている観光寺。花を売る寺。学問修行の寺。いつも門が閉められ取付くすべがな
い寺。葬儀法要のための寺。等々。

ある日、ある所の私の体験である。急な雨に逢い、立ち寄ったのがお寺だった。少時の
雨宿りのつもりだったが、無人のお堂にいろいろと置物があり、それとなく鑑賞している
うちに堂守が帰ってきた。「こちらへいらっしゃい、お茶でも入れましょう。そのうち雨
も止むでしょう」とのこと。お茶を頂きながら話を伺うと、その人は自殺をする場所を探
してここまで歩いて来て、このお堂へ無断で泊まり、お礼がわりに廻りの草を抜いていた
ら近所の人から食事を頂くことになり、自殺はやめてそのまま居着いてしまったという。
今ではお寺の小修理や、近所の子供の遊び相手になっているとのこと。いいですねエ。

寺はそれぞれに存在理由があるだろうけど、私にとって嬉しいのは、心が癒されるお寺
である。何がなくても良い。極端に言えば、ご本尊はどうでもいい。お堂の片隅でじっと
している私を、黙って放っておいてくれるお寺がいい。

7、 中国人に求められる「日本人先生(老師)」

尖閣諸島の非難をそらすつもりか、このところ中国人の訪日が多いとマスコミが報じている。うちの息子も数日間、招かれて中国蘇州へ行って来たが、折返して向こうから訪日団が来たので、対応しているとのこと。息子の仕事内容は私には皆目判らないことだが、「何語で対応するのか？」と聞けば「英語さ」と事もなげである。私の場合中国音楽の学習が目的だったから、ある程度は中国語が必要だったが、現代企業人にとって中国語は必須ではないらしい。訪問してきた中国人も、奈良の1300年の歴史には興味がなく、それよりは町工場へ行って熟練工から現実の技を見て教えて貰うことを熱望するらしい。

私は、言葉以上に実際の音を通じて中国音楽を学んだが、中国技術者は、日本の熟練工の仕事ぶりを見れば理解が出来るのであろう。

8、 改装開店のお菓子屋さんのお内義の話

(私の車のナンバーを見て) アラァ! 静岡の方ですノン? ヘエ転居シハッテ……オオキニ、ありがと御座います。イエネエ、うちとこ42年前からここでお菓子作って売ってますねン。ずっとここでお商売させてもろて居りましたんエ。セヤケド、駅前に新店出すチュウことになりまして、暫くここは閉めてましたン。スンマヘンデス。

ここはホンマええとこデッセ。法隆寺さんがありまっしゃろ。スヤサカイニ地震はおまへん! 神戸の時かてチーット揺れただけで、ナーンモオヘン。聖徳太子さんが守ってくれはるさかいに台風かて来イしません。ホンマデッセ。どうぞゴ聾尻に! ヨロシユウ!

9、 平城山(ならやま)散策は如何か

“人恋うは悲しきものと平城山に もとおり来つつ耐え難かりき”

何度も演奏した覚えのある名曲だが、『平城山』の場所は曖昧であった。調べてみると意外な近さである。簡単に言えば東大寺の北、1.5kmほどの般若寺あたりからを言うようである。その手前を東に向かうのが月ヶ瀬街道で、ソノママ行けば名古屋。北に向かうのは奈良街道で、木津川・宇治・伏見・東福寺を経て京都となる。

平城山散策の出発点は東大寺。大仏殿を右に見て、ほどなく転害門。次いで左には聖武天皇と光明皇后の御陵がある。月ヶ瀬街道と奈良街道の分岐点近くにある般若寺は、平城遷都以前からの古い歴史がある寺で、国宝の文物もたいしたものだが、早咲きのコスモス(6月)で知られる。疲れたらここで一休みして元へ戻る。往復で3km。

健脚の方は続いて佐保路(歴史の道)探索は如何か。般若寺から西へ行き、鴻ノ池運動公園から東南に向かうとその昔の平城貴族が住んでいた地区となる。紆余轉變。在原業平の不退寺はレンギョウとあやめ。光明皇后の法華寺はカキツバタ、海竜王寺は雪柳などと花の名所が続き、その先が平城宮跡である。般若寺から3km強。

車なら奥山ドライブウェイであろう。東大寺の正倉院裏手から三笠山(若草山)・春日山原始林(世界遺産)などを巡って春日大社の南に至る。三笠温泉が目当てなら逆廻りの方が良いかもしれない。大人の修学旅行は、少し道を変えると楽しくなると思う。

すずらんと言えば北海道だが、この奈良にも自生地があるという。南部桜井市の高原やその南の話。見に行きたいけど「そっとするのがいいんじゃないかな、そっと咲け。」

10、リニア新幹線が奈良に停車？

このところ奈良新聞にリニア新幹線の話載る。2027年に東京-名古屋が開通すると、いよいよ奈良にも新幹線が発着するという夢のような話である。県知事さんを始めとして奈良の活性化の話から個人的な夢の話まで、盛んな論議は結構だけど、着実に実のあるものをお願いしたい。ここもあちらも掘れば歴史が出てくる奈良のこと、駅舎だけでなく、線路を含めて候補地の選定は大難航すると思われるからである。

中国上海には既にリニア新幹線があって営業しているが、あちらは、放置されて人家も少ない土地を利用し、国の威信を掛けて建設したからいいが、奈良では同じように建設するのは困難である。互いが譲り合えばいいが、とても難しいものと思われる。

もっとも、2045年の完成では私にゃ乗れないリニア新幹線。長野・山梨が近くなるのはいいことだけど、静岡へは行かないんだもンね。私にゃ関係ないか？

11、斑鳩の天候

『野生の朝顔』のほんの数粒の種をビンに入れ、清水から持ってきて斑鳩で鉢植えしたところツルが30cmほどに伸びてきた。この朝顔、元は静岡の鈴木重郎さんに頂いたもの。

城内小学校近くのお宅で、奥様が丹精して栽培して分けて下さった。中国南部の山野に自生しているものを重郎さんが運んで来たとのことである。

鳥坂に植えたところ見事に成長した。何といっても良いのが色合いで、深い紫もいいが、淡い桃色も良い。肥料を与えれば栽培種同様に大きい花卉を開くが、原種らしい小さなものもいい。それに長命で、鳥坂なら12月まで咲いてくれる。

鳥坂妙立寺周辺は一年を通じて花が絶えず、数年前から花暦の製作を意図して、様々に写真を撮っていたが、転居により挫折してしまったのは残念至極。

ここ斑鳩の天候は、鳥坂とは異なるようである。お隣の老夫人によると「ここの天候に慣れるのは大変」「冬は寒さが厳しく、夏は暑さに閉口。今は、朝は春で昼が夏、夕方は秋で夜は冬。一日の中に一年があって昼間は半袖でも夜は長袖。」となるのだそうである。確かに言われる通りの気温変化があり、慣れぬ私共は大いに戸惑っている。

桜の咲き方も清水とは大いに違うと思っていたが、若葉の候も違うのである。例えば、鳥坂なら、四月の始めから十日に掛けて桜が咲いて散り、葉桜かな？と見る間に若葉・青葉が精一杯の命を広げるのである。その勢いの良さ、鮮やかな色、えもいわれぬ香気、そのいずれもが素晴らしく、この世で一番と密かに思っていたほどである。

これに比べると斑鳩の青葉は、「一斉青葉」ではないようである。特にここは新住宅地だから、各自がそれぞれ自慢の植木を持っているからかもしれない。

ところが、数日ぶりに近くの竜田川公園脇の道路を歩いて驚いたのは、見事な青葉である。清水に比べると色が濃い、まさしく青葉である。土地と気候により青葉といってもそれぞれの特性を生かして生まれるものであることが体感できた。

お菓子屋のお内義の話ではないが、斑鳩は特異地域だと思われる。大陸からの風は北の山で東西に逃がされ、西からの風も生駒や矢田の山脈で軽減されるから、台風が来ない安定した生活が長年にわたり守られてきたのであろう。結果的に慢性乾燥地帯だが、風邪の流行を防ぎ洗濯物を乾かし、古墳では長年にわたって文物を保護して来た。